

那賀地方の農業

温暖な気候、都市圏に近い立地条件を活かした農業



和歌山県那賀振興局農林水産振興部農業水産振興課

〒649-6223 和歌山県岩出市高塚209

TEL 0736-61-0025(直通)FAX 0736-61-1514

HPアドレス <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130200/nousin/index.html>

農業の概要

(位置・地勢)

那賀地方は岩出市・紀の川市から構成されている。両市は和歌山県北部に位置し、北に和泉山脈、南に紀伊山地を控え、この間を東西に一級河川紀ノ川が流れている。

総面積は岩出市38.5km²、紀の川市228.24km²であり、山林が97.93km²とほぼ3割を占めている。

(紀の川市)

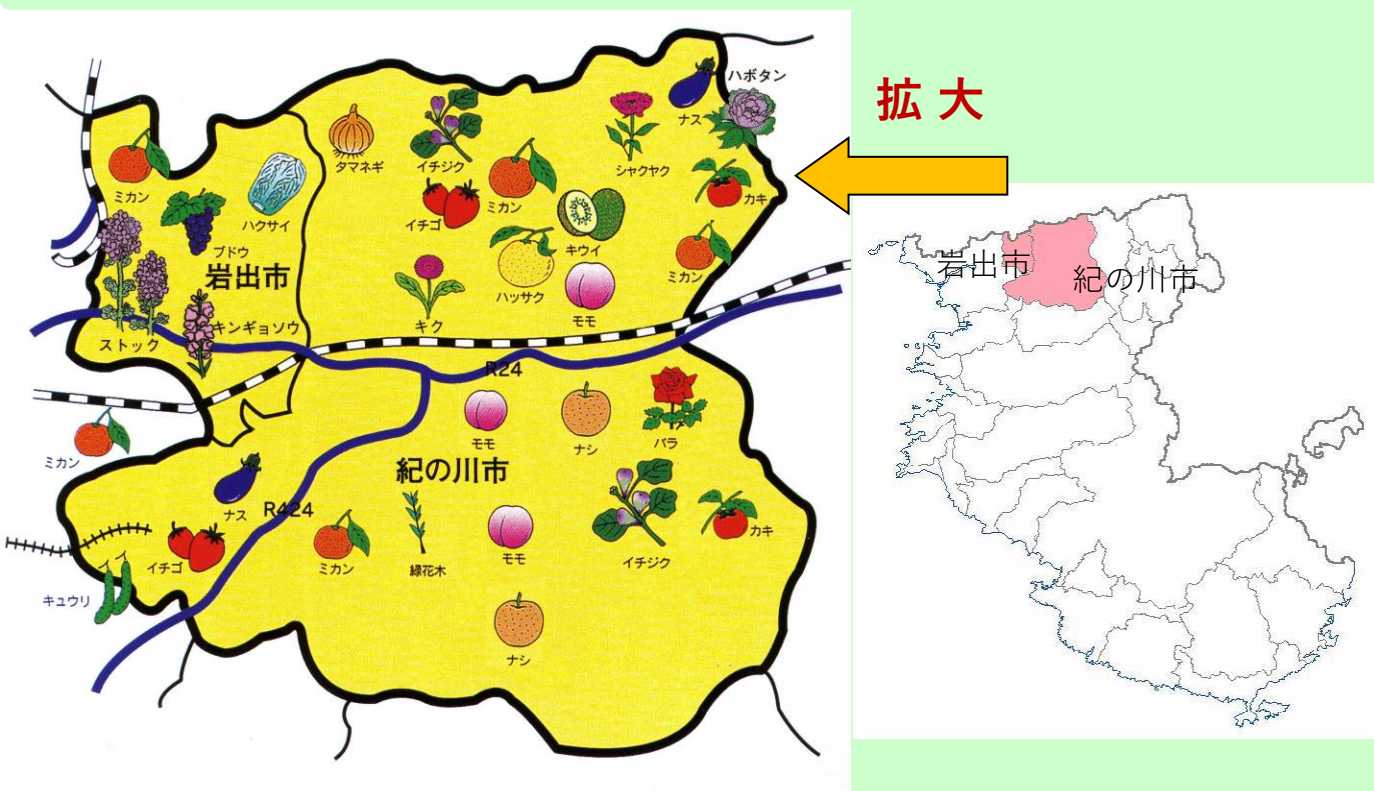
紀の川市は、和歌山県内において総農家数、耕地面積、農業産出額が1位であり、県内を代表する農業地帯である。果樹ではもも、キウイフルーツ、いちじく、はっさく、野菜ではいちご、たまねぎ、花きでは輪ぎく、葉ぼたんなどが県内1位である。

また、地域ごとに特徴のある農業が展開され、主な農産物は下記のとおり。

- 打田地域・・・水稻、いちじく、いちご、スプレーぎく等の花き類の施設栽培
- 粉河地域・・・はっさくなどのかんきつ類、かきやももなどの落葉果樹
- 那賀地域・・・キウイフルーツ、かんきつ類、かき、うめ、葉ぼたん
- 桃山地域・・・もも、緑花木
- 貴志川地域・・・水稻、いちご・なす・きゅうり等の施設栽培

(岩出市)

岩出市は和歌山市や大阪都市圏への交通アクセスに恵まれており、稲作が中心で、裏作にはくさい、キャベツ、たまねぎ、なばな等が栽培されている。施設では、いちご、トマト等の果菜類やストック、きんぎょ草など花きが多い。果樹は、ぶどう、かんきつ類、いちじくが栽培されている。



産地(果樹)

もも、かき、温州みかん、中晩柑、いちじく、キウイフルーツなどの多品目にわたる生産が行われている。

もも、いちじく、キウイフルーツ、はっさく、なしは県内1位の産地である。平野部から山間地まで広い地域で様々な果樹が栽培されている。



もも 生産量 県内第1位



かき 主力品種の「刀根早生」



はっさく 生産量 県内1位



いちじく 生産量 県内1位



キウイフルーツ 生産量 県内1位



うめ (南高)



なし 生産量 県内1位

産 地(野菜・花)

水田裏作として、たまねぎ、キャベツ、はくさいなどが、施設では、ほうれんそうなどの軟弱野菜やいちご、トマト等の果菜類が栽培されている。いちごは県内一の産地である。

花きは葉ばたん、輪ぎく、スプレーぎく、ストック、しゃくやくなどが栽培されている。



いちご 和歌山県育成品種「まいひめ」

生産量 県内1位



葉ばたん 生産量 県内1位



きゅうり 生産量 県内1位



たまねぎ 生産量 県内1位



なす 生産量 県内1位 (写真ふわとろ長なす)



スプレーぎく



しゃくやく 生産量 県内1位

地域ブランド品の創出

那賀地方には、「あら川の桃」「ねごろ大唐」「紀の川柿」「靱漕の黒豆」などの地域の特産物がある。

また、紀の川梅干やはっさくの缶詰など加工品づくりも行われており、6次産業化による地域の活性化を担っている。



靱漕の黒大豆
(紀の川市)



あら川の桃
(紀の川市桃山町)



ものの加工品 (ももジャム、もも入り金山寺味噌、ももドレッシング)



紀の川柿
樹上脱渋の黒いかき



岩出市特産ねごろ大唐



紀ノ川梅干
木熟梅を塩と砂糖で漬けた梅干し



はっさくの缶詰

地産地消の取り組み

管内では地元の新鮮な農産物を提供するJAなどの直売所があり、消費者との交流事業も盛ん。地元食材の学校給食への供給も行われている。



岩出市特産なばな



なばなを使った七宝巻きすし



JAなどの直売所 消費者に大人気



農産物や加工品を
学校給食へ供給

GAPの推進

那賀地方は和歌山県の中でも、積極的な取り組みを行っている地域である。

紀の川農業協同組合は、県内でも先駆けてGAPを取得し、部会を中心として新たな認証取得に取り組んでいる。



GAP研修会

ねごろ大唐の出前授業



GAP現地研修会

食育の推進

管内の小・中学校で地元農家が指導者となり、ももやねごろ大唐の出前授業、郷土食料理体験を実施している。



郷土食体験



ももの出前授業

新規就農者・農家の担い手

那賀地方では、毎年約20名が新たに就農している。Uターンや新規参入者など多様な新規就農者に対して就農相談や技術・経営指導を行っている。



新規就農者の研修会
低コスト簡易ハウス現地研修



新規就農者のいちじく栽培現地研修